

講義名	倫理学			授業形態	
担当教員	越後 圭一	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	

主題と概要
倫理学とは、私たちが善く生きるために何をすべきか、何をすべきでないか（＝規範）を考えていく学問です。この講座では、倫理学があつかう基本的な諸問題について、具体例をまじえて学んでいきます。

到達目標
・知への興味や関心を引き出し、物事を深く考えるための知的基礎形成を促す教養をつけること。 ・私たちが生きていくうえで守るべき規範や善悪について原理的に思考する態度を身につけること。

提出課題
提出は2回。 ・中間レポート：授業の感想や疑問点など ・学期末レポート：講義中で扱った思想や概念についての論述 提出方法： 各自Word等文書作成ソフトでファイルを作成し、RYUKA PORTALより送信。手書きレポートや手書きをスマホ等で撮影した画像による提出は受理しない。 提出方法、テーマ、提出期間等の詳細については授業内で説明します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
小レポートに関しては授業内でフィードバックします。

評価の基準
授業はすべて講義形式で行います。RYUKA PORTALより毎回配布するレジュメを授業時間までにダウンロードし持参してください（プリントアウトorノートPCからの閲覧等）。教室では、スライドを使って授業を進めます。 試験等はありませんが、2回のレポート提出物により評価をおこないます。 小レポート（30%）、学期末レポート（70%） 両方の提出がない場合は「不可」とします。 受講しなくても書けるような一般的な内容のものではなく、授業の個別の内容を踏まえたレポートのみを採点対象とします。

履修にあたっての注意・助言他
この授業では、倫理学の難しい専門用語などを極力用いずに日常の具体例に即して説明し、倫理学の基本的な諸問題について考えていきますので、気軽に受講していただければと思います。

教科書
.使用しない。
参考文献
.なし。

その他
各授業日までにRYUKA PORTALよりレジュメを配布します。参考文献は授業内で紹介する予定です。

授業計画
1. ガイダンス 倫理学とは 2. 続・倫理学とは 3. 功利主義と義務論 4. 善い人間 5. 善とは何か 6. 正義とは？ 7. 多数のために少数を犠牲にすべきか 8. 版死と臓器移植 9. 倫理と宗教 10. 自己所有権と自由 11. ヒューマンズムとは 12. 人間の権利 13. 環境倫理学 14. 持続可能な社会と倫理 15. 社会と倫理

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
毎回の授業に臨むにあたり、それまでに配布されたレジュメを復習し、授業で定期する倫理的問いについて、自身の体験や経験を振り返り、当事者意識をもって具体的に考えてみてください。（1時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力として、本講義は、他者との社会活動における倫理性についての知見を深めることを助け、（5）仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材の育成に貢献します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
授業の進み具合等に応じて内容を変更する場合があります。